

曇野市男女共同参画推進審議会 会議概要

|   |           |   |
|---|-----------|---|
| 1 | 会議名       | 第4回 安曇野市男女共同参画推進審議会（第5期）  |
| 2 | 日時        | 平成29年5月1日 午後1時30分から午後4時00分まで  |
| 3 | 会場        | 安曇野市役所 3階 共用会議室305  |
| 4 | 出席者       | 大日向委員、田中委員、望月委員、二木委員、増田委員、小松委員、<br>小林（栄）委員、小林（知）委員、小林（久）委員、三澤委員、<br>秋山委員、青木委員、降旗委員、湯澤委員、田村委員<br>(欠席委員) 松村委員、清原委員、宮下委員 |
| 5 | 担当課出席者    | 堀内部長、高山課長、山口係長  |
| 6 | 公開・非公開の別  | 公開  |
| 7 | 傍聴人       | 0人 記者 0人  |
| 8 | 会議概要作成年月日 | 平成29年5月15日  |

協 議 事 項 等

【会議事項】

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 協議事項
  - (1) 第3次安曇野市男女共同参画計画策定に向けた市民アンケート、事業所アンケートの結果について
  - (2) 第2次安曇野市男女共同参画計画の検証のについて
  - (3) その他
- 4 その他
- 5 閉会

【会議概要】

3 協議事項

- (1) 第3次安曇野市男女共同参画計画策定に向けた市民アンケート、事業所アンケートの結果について

【要旨・主な意見】

事務局：「男女共同参画に関する市民アンケート<報告書>」説明

会 長：質疑あるか。

事務局：関連があるので、併せて第2次計画の主要施策の検証と設問7記載式アンケートの分類、分析についてご説明したい。

- (2) 第2次安曇野市男女共同参画計画の検証について

事務局：「主要施策重点事業一覧表により分類したアンケートの分析」説明

委 員：本当に分かりやすく、よくまとめていただいた。先ほどの平等とは何だろ。機会の平等か結果の平等か、一人ひとり互いを認めあっていく、ということが男女共同参画なのかと思ひながら説明を聞いていた。

委 員：これぐらいまとめて意見を集約していくなかで経路ができる。そういう回路をつけて行くと、結構いい方策ができると思う。私は自治基本条例に携わっていたが、3年ほどワ

ークショップ等に関わった。たくさんのことを考えて、まとめて作り上げていく事は大変だ。社会の求められているもの、少子高齢化の中で何をしていくかということのヒントがいっぱいある。男女共同参画の観点から見ているが、要は、安曇野市の行政の骨を作るといような形になると思う。正解はないけれどこうするのだ。という指針を作るとよい。区、審議会などを、このような考えで行う必要がある。

委員：モヤモヤを私も感じるが、男女平等というと、疑問に思うことが多々あった。女性は子どもを産む性である。子供が産まれたらすぐ母乳をあげるので、どうしても女性に役目が偏りがちであり、教員・保育士・公務員は、3年育休がある。子育ての上で、お母さんでなければできないことがあり、お父さんでなければできないことがある。それも大切にしつつ、でも、結果としては経済力ありき。子供を自力で育てたいと思い、本当は家にいたいがお母さんがいる。学校現場で関わるお母さん方は、やりがいを持って働くというよりは、経済力のために働くお母さんが多い。様々な背景がからみあっている。このように生きていきたいけれど、こうせざるを得ないというのがある。これまでのしきたりの中で、女性は育児の他に介護も背負っている。男性でも、上手にやる方はいるが、性差によって女性に頼みやすいという風潮が残っている。私自身にも、モヤモヤがある。男性と女性との考え方を絡み合わせながら解決していく必要がある。そもそも機会に平等、結果の平等はからみあっている。機会があっても望まない人もいる。それを行政が支援してくれることは大きい。放課後児童クラブが増えているが、児童数は減っている。それはお母さんが働いていかないと、家計が厳しいという背景がある。今は、行政、社協が支援してくれている。不満もまだまだ多くあるが、昔と比べれば、だいぶ働く女性が増えている。確実に女性の社会進出は増えているが、それは、個の考え方や経済力の問題がからんでいると言える。

### (3) その他

会長：次回審議会開催日程について、事務局から諮りたい。

事務局：スケジュールでは次回審議会の開催は8月となっているが、第3次計画の「施策の体系」についてご審議いただきたいので、第5回の開催を6月としたいがよろしいか。

委員：(承認の声)